



## 14 たまり場・たろう



開設年月日 平成16年5月8日  
 開催拠点 たまり場・たろう  
 連絡先 TEL：090-1797-3045  
 FAX：0296-28-0136  
 E-mail：s.sasaerukai@dream.com  
 代表者 小松崎 登美子

### サロンのテーマ・目的

地域におけるコミュニティをベースに人と人、人と地域をつなぎ、助けられたり助けたり共助の精神を育み、支え合う福祉のまちづくりをめざします。

1回の参加人数 平均 8人  
 1回運営スタッフ数 平均 3人  
 利用料(参加費) 0~500円  
 年間予算額 230,000円  
 (平成20年度実績) (内訳) 助成金 75,000円  
 自主財源 155,000円

### 活動の概要

- 閉じこもりを防止するためのふれあいイベント。
- 振り込め詐欺防止のための学習講座や認知症サポーター養成講座など生活課題解決の為の各種講座の開催。
- 新しいふれあい社会を「昭和のきっちゃてん」を媒介として、人の出会い、ふれあいを促進し人の絆を深めています。

### サロンの特徴

常設の場であり、赤ちゃんを抱いたお母さん、地域デビューを準備中の団塊世代、単独世帯の高齢者の方々など、世代や生活環境の全く異なる分野の人々が、いつの間にかふれあい、交流の輪を広げ温もりあるまちづくり活動へとつながっています。

また、気軽に立ち寄れる雰囲気づくりとして「プチ・フリーマーケット」コーナーや「昭和のきっちゃてん」をボランティアスタッフによって運営し、随時開催の「ココロの原風景・手しごと文化作品展」や「ワンコイン寺子屋」は、周囲のために自分のできることで、自分を活かそうとする生きがいを確立するきっかけとなっています。

### 身近な人材や施設など地域の社会資源の活用

地元自治会、アマチュア音楽バンド、各分野のボランティア団体及び行政等の協働による企画を立案し、地域のコミュニケーションを深め、すべての市民の参画を促しています。

また、「ワンコイン寺子屋」では、ものづくりからまちづくり談義まで、テーマを無限に広げ、講師は大学生から主婦の方まで幅広い一般市民の方々の協力を得ています。





## サロン実施にあたって苦労したこと

### 人集め

常設サロンの他、300円参加費での「ほっとひと息サロン」募集は、市の広報誌に掲載依頼をし、参加者の固定を避けています。運営スタッフは、カフェ来店者や各種講座参加者、運営に係わるボランティア団体の会員等がローテーションを組み運営活動にあっています。

### 活動拠点

「下館地域在宅介護を支える会」を立ち上げる1年前（平成9年）からサロンを開催していますが、当時は回遊型で場所をお借りしながらの開催でした。

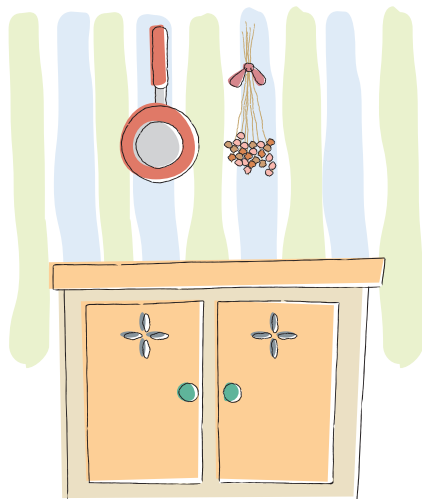
現在の「たまり場・たろう」は、元自宅で空き家になっていたため、常設の活動拠点として無理なく確保することが可能でした。

### 財源

「たまり場・たろう」の運営母体である任意団体「下館地域在宅介護を支える会」の会員会費及び県・市社協助成金の他、マーケットやカフェにおける利益、手作り作品販売の手数料（委託料）、講演活動での謝金などです。

## サロン開催の効果

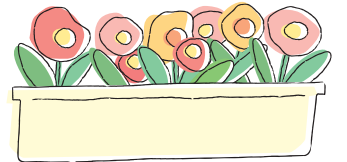
サロン活動に携わることによってスタッフ、参加者ともに、人とのふれあいから「やさしさ・思いやり」が自然発生的に生まれ、人間本来の心の原点回復、人がひととして輝いて生きる人間性の回復につながっています。



## サロン開催の課題、今後のサロン活動への想い

世代を超えた人々が集う空間から本物のコミュニティが生まれます。

遊び心があって、人生を豊かにチェンジできる仕掛けをプロデュースできる「たまり場」を、多くの仲間と共に展開していきます。



## 委員からのプレゼント

サロンは毎週水、木、金、土の4日間午前11時30分～午後6時まで行われており、訪問当日も5人ほど来ておりお話を伺っている間にも3人ほどおいでになり、一回平均8名位のボランティアの皆さんが参加されサロンを行っているということでした。

また閉じこもり防止のために、イベントを商店街の皆さんの協力を得て、路上歌声など町おこしのために年2回ほど開催し、こうした活動を通して人と人とのふれあい・地域の継がりを多くの皆さんにもっともっと知ってほしいということで「たまり場」をあと六箇所位増やして行きたいということでした。

願いがかなうことを祈念しております。

（栗原 忠夫委員）